

うき消防の動き

8月号

(署内報)
 編集・発行 宇城広域消防本部総務課
 〒869-0419 熊本県宇土市新松原町159-1
 TEL 0964(22)0554 FAX 0964(22)0270
 Mail honbu@ukisyobo.or.jp
 URL http://ukisyobo.or.jp
 平成21年8月10日発行

県下の水難救助隊員が宇城に集結

第35回熊本県消防救助技術大会水上の部 宇土市民プール



人命救助 1人目の要救助者を救出中の本田班 (宇土市民プール)

宇土市民プールで7月6日、県下13の消防本部から192名の隊員が参加し、第35回熊本県消防救助技術大会「水上の部」が開催された。
 当消防本部からは、基本訓練の部2種目、連携訓練の部4種目に22名の隊員が出場。陸上大会終了後、当番非番を問わず休みなく訓練した水難事故対応における救助技術を競った。

本来6月30日に予定されていた本大会であったが、大雨の影響で7月6日に延期となり、大会当日は心配された天候も一転し、強い日差しの中行われた。宇城広域消防本部の山口消防士が「日頃の訓練の成果を十二分に発揮し、これまで訓練で培ってきたことを、日々の消防業務に生かし、人命救助に努めることを誓います」と力強く宣誓した。

基本訓練の部

複合検索には、3名が出場、水上の部初出場の村崎消防士であったが見事入賞、人命救助から種目を変更し、出場した藤村消防士はラスト10メートル付近でシュノーケルクリアをミスし、基準タイムを切る事ができなかった。2年ぶりに複合検索に復活した藤本消防士は、大会で目標だった30秒台を切り入賞を果たした。

基本泳法には、馬場・中島・岡崎・澤田消防士の4名が出場した。若手4名の出場で期待されたが、残

29人目の救命士誕生

救急救命士研修を終えて

南署1課救急係 高嶋 昭徳



昨年9月から救急救命研修所で7ヶ月間、その後、済生会熊本病院で2ヶ月間の研修を終えて、職務に復帰することになりました。研修期間中は、皆様からの温かいお言葉、励まし、お心遣いをいただき、おかげさまで無事に国家試験にも合格することが出来ました。今回、研修を終え救急救命士になり「今まで以上に勉強や訓練を頑張らなければ」と思っています。今の知識、技術に満足することなく日々努力しスキルアップし、患者さんから信頼されるようになりたいと思っています。それだけ責任のある行為を行っていると感じています。今後の現場活動を行っていきたく思います。

念ながら4名とも入賞することができなかった。



オープンルー第2泳者岡崎消防士

連携訓練の部

溺者搬送には、馬場班、中島班の2チームが出場、久しぶりの溺搬への出場。出場チーム3チームのうち2チームが、宇城という好条件と思われたが、その内の1チームは全

国常連のチームであったため、1つ枠を獲得することができなかった。
溺者救助には2チームが出場、ブリ救でチームを組んでいる、岩本消防士と中川消防士が共に泳者として出場。今年は、振り返らずに泳ぎ抜いた中川班に軍配が上がった。
水中検索救助には中山班が出場、出だしから徐々に遅れていき、目標の90秒を切る事ができなかった。
人命救助には、2チームが出場、2秒台の出を誇る本田班であったが、その出の結末でロープを落とすとしてしまい、タイムロス、60秒を切る事ができなかった。初出場の山口隊員チームは初年度にしてはまずまずのタイ

引揚救助全国ならず

第38回九州地区消防救助技術指導会

熊本県消防学校で7月17日、九州地区消防救助技術指導会が開催された。全国大会への出場権獲得を目指し、九州・沖縄8県代表の救助隊員たちが日ごろの訓練成果を披露した。連携訓練4種目に各県の予選を通過した40消防本部から273人(熊本県は8本部55人)が出場、技術の正確さと速さを競った。
 宇城広域消防本部からは、引揚救助の田中班(田中孝二副士長・木村正文副士長・吉田淳消防士・満潮直範士長・堀貴喜副士長)が出場した。昨年の全国に続き、2年連続出場を目指して、日々訓練を行っていたが、大会



スタート直後の引揚救助 田中班



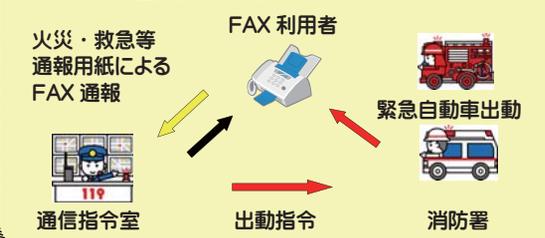
田中副士長・木村副士長・吉田消防士・満朝士長 堀副士長

1週間前からケガ等の影響で、1回も通さずに、ぶっつけ本番で大会に臨んだ。やはり、現実はそのう甘くなく、スタートから細かいミスが積み、タイムロス、実力を発揮することができず、6位入賞に終わった。来年は、万全の状態で行ってみたい。

FAX119番・Eメール119番運用開始

8月1日から

このシステムは、言語による119番通報が困難な、聴覚及び言語障のある方が緊急通報を行う補助手段として、FAX及び携帯電話機・パソコンを利用して119番通報を行い、消防車や救急車の要請ができるもので、8月1日から運用を開始しています。



益城町
 熊本県消防学校

防火管理者講習会開催

南消防署研修室

南消防署研修室に防火に対する考え方において7月23・24日もより一層深いものに、防火管理講習会が開催された。近年における防火対象物の使用形態の複雑化、高度化への順応や頻繁な消防法の改正把握など、防火管理者には、防火管理業務を適切に行っていくうえで、知識、技能の更新が常に要求されている。防火管理者に必要な知識、技能を身につける事業所等で防火に関する講習会が、受講者は真剣に取り組んでいた。



電光式消火訓練装置で消火訓練中

夏の事故に備えて



宇城市三角町 波多マリーナ

潜水隊・南消防署・三角分署

合同訓練実施

7月24日(金)

三角波多マリーナにおいて、潜水隊・南消防署・三角分署合同で(総員22名)水難救助訓練が行われた。雨の降る中の訓練であったが、潜水隊においては、劣悪な視界環境の中(視界約30cm)で、海底での検索救助、南消防署・三角分署においては、ボートを使用し、潜水隊と協力して要救助者の引揚訓練を行った。今回の訓練では、潜水器具のセットを組む準備段階から訓練を開始するなど、より実践に近い訓練が実施された。



要救助者をボートに引揚ている様子(波多マリーナ)

少年消防クラブ体験学習

北消防署

7月29日(水)、宇城管内少年消防クラブ15校から29名(男16名、女13名)が参加し、北消防署で開催された。入隊式の後、午前中は防災ビデオでの学習、車両見学、通信指令課見学、はしご車試乗を行った。午後からは、宇土シティの消防用設備等の見学、救急法の指導が行われた。当日は、朝からの大雨で屋外での活動が心配されたが、天候も徐々に回復し、全ての日程

を無事終えることができた。昨年度から、1日という限られた時間の中で研修となったが、参加したクラブ員達にとつて中身の濃い貴重な体験になったように感じられた。



少年消防クラブ員

初任科便り

平岡史彰



消防士という夢を叶え、消防学校へ入学してから早くも三か月が経ちました。寮の生活リズムにも慣れ、同期の仲間とも仲良くなり、キツイ中でも楽しみを見つながら学校生活を過ごしています。七月に入ってから、日を追うごとに暑さも厳しくなり、実科訓練では、応用訓練等も徐々に入ってきて、精神的・肉体的にも辛い訓練が続いています。ですが、これからの訓練の一つ一つは現場活動に直接繋がってくるのだと思います。辛い時こそ、自分がなぜ消防士を目指したのかということ思い出して、乗り越えていきたいと思っています。

学校生活も残すところ、二か月余りとなりました。十月からは消防本部へ戻り、第一線で働くこととなります。現場で、自分たちを必要としている地域住民の方々は、現場へ来る消防職員を選ぶことはできません。地域住民の方々への充実したサービスを提供するためにも、貴重な学校生活の中で、少しでも多くの知識と技術を習得し、地域住民の方々や、先輩方に信頼して頂けるような消防職員となれるよう、一日一日を大切に過ごしていきたいと思っています。

お誕生 おめでとうございませう



網田分署
那須秀和 副士長
秀明(ひであき)くん
6月25日生れ

結婚 おめでとうございませう

岩本壮史 消防士
美里分署

思い愛(あい)

「固定観念」を見直そう!

人がどの地域・どこの家に生まれ、ましてや男か女か、本人の変えようのないことで差別することに、いったい何の意味があるのか。また、そのことで差別を受けることが、どんなにつらく悲しいことか、そう考える人は多いのではないだろうか。しかし、現実にはいろんな差別がある。

先日の人権学習である事例を紹介された。そのなかで、今も本当にこんなことがあるのかとおどろき、悲しく心が傷んだ。本人はさぞかしつらく悔しい思いをされたことだろう。

生まれや考え方や文化が違う者同士が、どうやって共生していくかが今の時代には必要なのに。今一度考えたい。

Wonder Wall

人が生きていく上で何度か、壁にぶつかることがある。人それぞれによって、その大きさや感じ方は違うと思う。今年の宇城の救助技術シーズンが、九州大会で幕を閉じることとなった。みんな全国を目指し日々訓練に勤しんでいるが、県大会にも見えない壁がある。その壁を乗り越えようと努力し、乗り越えられた時、見える景色が変わってくるはずである。もし、その壁を乗り越えることができなかつたとしても、自分のできる限りの努力をした者にはきっと同じ景色が見えてくるはず。

災害統計

| | 火災 | 救急 | 救助 |
|-------------|----|------|----|
| H21.7.31 現在 | 38 | 3519 | 69 |
| 昨年 同期 | 33 | 3610 | 66 |
| 増減数 | +5 | -91 | +3 |

8月の行事

| 日 | 曜 | 行事 | 場所 | 時間 |
|----|---|--------------------|-------------|-------------|
| 3 | 月 | 熊本県女性軽可搬ポンプ操法会議 | 本部会議室 | 09:30~ |
| 5 | 水 | 中央ブロック消防広域協議会設立準備会 | 県庁 | 10:00~ |
| 9 | 日 | 宇城広域消防連絡協議会親善球技大会 | 宇土市 | 09:00~ |
| 11 | 火 | 熊本県消防長会総務担当課長会議 | 人吉市 | 2日間 |
| 20 | 木 | 熊本県消防長会予防担当課長会議 | 玉名市 | 2日間 |
| 23 | 日 | 第1回熊本県女性軽可搬ポンプ操法大会 | 火の君総合文化センター | 09:30~ |
| 26 | 水 | 正副連合長会議 | 宇城広域連合 | 10:00~12:00 |
| " | " | 宇城管内市町職員等意見発表会 | ウイング松橋 | 13:30~ |
| 30 | 日 | 熊本県総合防災訓練 | 山鹿市 | 10:00~ |